

第1学年国語科「楽しくつないでお話名人 ～『なにに見えるかな』～」

学習指導者 小出 早織

教師のモデルを基に「反応を返す」や「質問する」という、相手の発言を受けて楽しく話をつなぐコツを見付け、三人組で役割を交代しながらコツを使って話す練習をしていきました。その際に、話合いで使った言葉や話をつなげた回数を記録したチェックシートやこれまでの話合いの動画を基に、友達と振り返り、本時できるようになったことを客観的に捉える方法を身に付けていきました。

どんなことを質問したらよいか考えて、話す練習をしよう

【見通し】



学習計画を基に、前時まで「反応を返す」言葉を見付け、見付けた言葉を使って、話をつなげられたことを確認しました。そして、本時の学習課題を確認する際は、「どんな質問をしたらよいか考えて練習すると、お話名人に近くことができる」などと本時の課題解決の価値を感じ、意欲的に課題解決に取り組もうとする姿が見られました。

【行動】

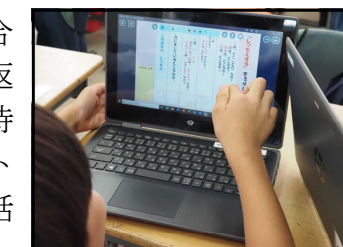
教師のモデルから質問する言葉を見付け、見付けた言葉を基に分からないことや気になることを質問するとよいことを捉えました。練習は、三人組で行い、話し手（何に見えるかを話す）、聞き手（話がつながるように質問をする）、チェック



係（話し手と聞き手が話し合う様子を記録する）の役割を交代しながら、「この葉っぱは何なの」や「りすが何をしているところなの」など見付けた質問する言葉を使って話をつなぐことができました。

【振り返り】

本時できるようになったことを、一人が終わってすぐに振り返るのか、三人が全て終わってから振り返るのか選択できるようにし、それぞれのグループに合ったタイミングで振り返りました。その際、本時の動画やチェックシートを見ながら、お互いの話し方を確認することで、「質問する言葉がたくさん使っていて、話がつながった回数が増えているよ」などと自分の成長に気付くことができました。



成果と課題

○前時のようにチェックシートを使って、今日も振り返りたいという意見が子供から出ており、方法が定着していた。役割を交代する際に、座席も入れ替わるようにしていたことで、自分の役割が明確になり活動が行えていた。

▲何をデジタルで行い、何を紙に書くかなど、一年生という発達段階を踏まえて活動内容の精選が必要だった。振り返り場面で、何をどのように振り返るのか、全員で共有できるような支援があればよかったのではないかな。